

事業概要書

事業名	東日本大震災における看護・介護及び生活環境適応サポート				
開始日	2011年5月1日	終了日	2011年8月31日	日数	123日間
団体名	NPO 法人 災害看護支援機構				

総額 (税込)	6,500,000 円	スタッフ人数	運営 4人 専門家 50人
---------	-------------	--------	---------------

事業目的	<p>① 東日本大震災で甚大な被害を受け避難所や自宅避難を余儀なくされている被災者の心とからだの健康維持と仮設住宅入居後の生活環境適応サポート。</p> <p>② 地元の専門職（医師・看護師・介護ヘルパー等）の能力向上。</p>	
事業全体の概要	<p>避難生活の支援は、被災者それぞれの健康状態や要介護状況に応じた対応が必要不可欠だが、それら支援を担う地元の施設や専門職も被災しており、十分な支援が行えているとは言えず、被災地域でそれら活動に携わる人材は圧倒的に不足している。避難生活が長期化するなか、被災者の心とからだの健康を維持し災害関連死を防ぐため、下記の事業を実施する。</p> <p>① 東日本大震災で甚大が被害を受けた岩手県陸前高田市及び宮城県気仙沼市に災害看護の経験のある専門職（医師・看護師・介護ヘルパー等総勢約 50 名）を派遣して、被災者に対する医療・看護・介護・心のケア・生活環境適応サポートなどの活動を行う。また、避難所から仮設住宅への入居時及びその後の健康維持や生活再建支援を行う。</p> <p>② ①の活動において地元行政や施設と連携することによって、地元被災地の専門職（医師・看護師・介護ヘルパー等）に対して、災害看護の技術や方法を指導する。</p>	
	事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	裨益者 (誰が、何人)
	<p>1. 専門職派遣による医療・看護・介護・心のケア・生活環境適応サポート</p> <p>全国各地から災害看護の経験のある専門職（医師・看護師・介護ヘルパー等）総勢 50 名を入替りで被災地の拠点に派遣して医療・看護・介護・心のケア・生活環境適応サポートを行う。具体的には日々の健康チェックや健康相談、栄養相談、介護が必要な被災者には食事や排せつの介助等。岩手県陸前高田市の託老所と宮城県気仙沼市の避難所の 3 カ所を拠点とし、24 時間体制で支援活動を行う。</p> <p>岩手県陸前高田市では、被災者との関係構築や子どもの遊び場提供、心のケアを目的として事業期間中にイベント（お祭りのようなイメージ。健康チェックや健康相談のほか、炊出しや金魚すくい、出店などを計画）を 1 回開催予定。</p>	<p>岩手県陸前高田市内託老所「ホロタイの郷炭の家」利用者約 18 人</p> <p>宮城県気仙沼市内面瀬中学校避難所約 300 人</p> <p>社会福祉法人親和会ハマナス学園 33 人</p>

<p>2. 地元のケア活動を行う人々に対する指導 支援活動にあたっては地元の行政や地域包括支援センター、保健師等と連携しながら行う。ともに活動しながら、災害看護のノウハウを地元の専門職（医師・看護師・介護ヘルパー等）に指導する。</p>	<p>現地の医療・福祉関係者 250 人</p>
---	--------------------------